

～平成14年全国物価統計調査～

◆はじめに

全国物価統計調査は、国民の生活において重要な消費支出の対象となる商品の販売価格及びサービス料金について幅広く調査し、価格の店舗間格差、銘柄間格差、地域間格差など価格構造を明らかにするものです。

ここでは、全国結果（速報）の地域差指数編についてご紹介します。

◆調査の概要

1 調査の期日

平成14年11月21日現在

2 調査の対象

人口規模	抽出数
人口10万人以上の市	すべての市（228市）
人口10万未満の市及び町村	408市町村を抽出
合計	636市町村

鳥取県では、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市の4市と岩美町、東伯町の2町が抽出されました。

3 調査品目

国民の消費生活において重要な商品及びサービスの中から322品目を選定し、さらに調査する商品の詳細を商標、規格等により指定しました。

◆都道府県別の物価水準について

図1 都道府県別総合指数



- 大分類ごとに物価水準の最も高い都道府県と最も低い都道府県の差を見ると、「住居」が66.0ポイントと最も大きく、次いで「教育」、「被服及び履物」で差が大きくなっています。
- 最も差が小さいのは「保健医療」の3.6ポイントで、次いで「教養娯楽」、「家具・家事用品」となっています。

・都道府県別にみた大分類別指数について、ランキングにより上位、下位を抽出すると次の表のようになりました。

表1 (全国平均=100)

	← LOW PRICE			HIGH PRICE →			
	1位	2位	3位	45位	46位	47位	
総合	沖縄県 91.3	宮崎県 93.4	熊本県 94.4	鳥取県 98.4 (29位)	京都府 102.4	神奈川県 106.1	東京都 108.7
食料	熊本県 91.9	宮崎県 93.8	大分県 94.8	鳥取県 100.2 (34位)	福井県 103.7	神奈川県 104.9	東京都 106.0
住居	沖縄県 71.5	宮崎県 76.2	愛媛県 76.8	鳥取県 86.3 (13位)	大阪府 107.8	神奈川県 125.4	東京都 137.5
光熱・水道	沖縄県 88.8	山梨県 92.8	徳島県 94.3	鳥取県 101.2 (23位)	北海道 112.1	長崎県 112.5	山形県 113.3
家具・家事用品	大分県 93.9	沖縄県 94.1	茨城県 94.6	鳥取県 101.4 (38位)	石川県 103.5	神奈川県 103.6	東京都 106.5
被服及び履物	島根県 83.3	沖縄県 85.8	山梨県 86.2	鳥取県 99.8 (32位)	広島県 107.4	神奈川県 109.6	東京都 117.1
保健医療	福井県 98.2	和歌山県 98.2	大阪府 98.3	—	石川県 101.3	鳥取県 101.7	島根県 101.8
交通・通信	沖縄県 93.3	群馬県 93.4	茨城県 93.5	鳥取県 98.1 (29位)	神奈川県 104.8	大阪府 105.2	東京都 111.3
教育	岩手県 83.6	愛媛県 83.7	岡山県 84.8	鳥取県 85.3 (4位)	東京都 111.4	神奈川県 113.5	大阪府 119.0
教養娯楽	宮崎県 93.0	大分県 93.2	鹿児島県 93.9	鳥取県 98.4 (25位)	大阪府 103.5	奈良県 104.1	神奈川県 105.3
諸雑費	青森県 89.1	沖縄県 89.6	秋田県 89.7	鳥取県 102.7 (39位)	富山県 105.1	神奈川県 105.2	徳島県 107.2